

第 49 回 東海女子サッカー選手権大会
兼 皇后杯 JFA 第 48 回全日本女子サッカー選手権大会 東海大会
大会要項

1. 趣旨 公益財団法人日本サッカー協会（以下「本協会」という）は、日本国内における女子のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与することを目的とし、中学 1 年生以上の登録選手を対象とした国内で最も権威のある単独チームの大会として実施する。
2. 名称 第 49 回 東海女子サッカー選手権大会
兼皇后杯 JFA 第 48 回全日本女子サッカー選手権大会 東海大会
3. 主催 一般社団法人 東海サッカー協会
4. 主管 一般財団法人静岡県サッカー協会
5. 協賛 株式会社モルテン
6. 日程・会場
2026 年 9 月 5 日（土） 1 回戦
マッチNo.①・② 清水蛇塚スポーツグラウンド（北グラウンド）
〒424-0916 静岡県静岡市清水区蛇塚 30-5 TEL： 054-336-3015
9 月 5 日（土） 1 回戦
マッチNo.③・④ 清水蛇塚スポーツグラウンド（南グラウンド）
〒424-0916 静岡県静岡市清水区蛇塚 30-5 TEL： 054-336-3015
9 月 6 日（日） 2 回戦
マッチNo.⑤・⑥ 清水蛇塚スポーツグラウンド（北グラウンド）
〒424-0916 静岡県静岡市清水区蛇塚 30-5 TEL： 054-336-3015
9 月 6 日（日） 2 回戦
マッチNo.⑦ 清水蛇塚スポーツグラウンド（南グラウンド）
〒424-0916 静岡県静岡市清水区蛇塚 30-5 TEL： 054-336-3015
9 月 12 日（土） 櫓①2 回戦 櫓②決勝
マッチNo.⑧・⑨ 御殿場市陸上競技場
〒412-0041 静岡県御殿場市茱萸沢 658-4 TEL： 055-088-1428
9 月 13 日（日） 櫓①決勝
マッチNo.⑩ 御殿場市陸上競技場
〒412-0041 静岡県御殿場市茱萸沢 658-4 TEL： 055-088-1428

7. 参加資格

- (1) 本協会に「女子」の種別で登録した加盟登録チームであること。
- (2) 2014 年（平成 25 年）4 月 1 日以前に生まれた女子選手であり、2026 年 8 月 21 日（金）までに本協会に登録追加登録されていること。小学生は出場できない。
また、中学生以下の選手だけの大会参加申込は不可とする。
- (3) クラブ申請制度の適用： 本協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」内のチームから移籍すること無く、上記（1）のチームで参加することができる。この場合、同一「クラブ」内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。なお、選手は、上記（2）を満たしていること。
選手が所属するチームの種別・種別区分は問わない。
但し、本大会の予選を通して、選手は他のチームで 出場※していないこと。
- (4) 外国籍選手： 5 名まで登録でき、1 試合 3 名まで出場できる。
- (5) 移籍選手： 本大会の予選を通して、選手は他のチームで出場（※）していないこと。
※出場とは、公式記録に 1 分以上記載された場合をいう。

8. 参加チームとその数

参加チームは下記の 12 チームとする

- ① NL2 部所属 1 チーム ヴィアティン三重レディース
- ② 東海リーグは、2026 年度 1 部の 6 チーム
- ③ 各県代表 愛知県 1 チーム、静岡県 1 チーム、三重県 1 チーム、岐阜県 1 チーム
- ④ U18 代表 1 チーム

9. 大会形式

ノックアウト形式（「3 位決定戦」は行わない） ※組み合わせ別紙参照

10. 競技規則

- (1) 大会実施年度の JFA「サッカー競技規則」による。
- (2) 大会参加申し込みした最大 30 名の選手のうち、各試合の登録選手は最大 18 名とする。

11. 競技会規定 以下の項目について本大会の規定を定める。

(1) 競技者の数および交代回数

- ① 競技者の数： 11 名 交代要員の数： 7 名以内
ピッチ内でプレーできる外国籍選手の数： 3 名以内
- ② 交代を行うことができる数：5 名以内 以下、本項に基づく交代を「通常交代」という。
 - a. 試合中の交代は、各チーム最大 3 回とする（1 回に複数人を交代することは可能）。
ハーフタイムの交代は回数に含まれない。
 - b. 延長戦が行われる場合、さらに 1 名かつ 1 回の交代を行うことができる。（直前の 90 分間と合わせて最大 6 名かつ 4 回の交代が可能となる）延長戦開始前および延長戦のハーフタイムの交代は、回

数に含まれない。

- ③ 脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次の通りとする。
- a. 脳振盪またはその疑いのある選手の交代（以下「脳振盪交代」という）は、通常交代に含まれない。
 - b. 脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。
 - c. 脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ 1 回としてカウントするものとする。
 - d. 脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1 名 1 回の交代を追加で得ることができる（以下、本項に基づく交代を「追加交代」という）。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、追加交代および通常交代の交代回数をそれぞれ 1 回としてカウントするものとする。
- なお、追加交代は理由如何を問わず使用できる。

(2) ベンチ役員：ベンチ入りできる役員の数 6 名

(3) テクニカルエリア：設置する

戦術的指示はテクニカルエリア内から都度 1 名が伝えることができる。

(4) ユニフォーム

- a. 本協会の「ユニフォーム規程」に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- b. 以下のいずれかに該当するチームは、各リーグのユニフォーム要項で認められたユニフォームであれば、本大会でも使用を認められる。ただし、一部でも仕様が異なる場合は認められない。

=====

チーム → 適用されるユニフォーム要項（リーグ）

J クラブ傘下のチーム → 公益社団法人日本プロサッカーリーグ（J リーグ）

日本女子プロサッカーリーグ（WE リーグ）加盟チーム → 公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ（WE リーグ）

日本女子サッカーリーグ（なでしこリーグ）加盟チーム → 一般社団法人日本女子サッカーリーグ（なでしこリーグ）

=====

この際、シャツの色彩が、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得ない場合、審判員用のカラーシャツを複数色、チームで準備できる場合のみ使用を認められる。

- c. フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）を用意のうえ、参加申込の際所定の様式にて提出し、各試合には正副両方を必ず携行すること。
- d. 各試合で使用するユニフォームは、チーム都合による変更は認められない。両チームは試合当日、正副のユニフォーム現物を持参し、審判員立会いのもと確認を行う。その際、審判員が判定に影響があると判断した場合には、使用するユニフォームを変更することができる。
- e. シャツの前面・背面に、参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号については付けることが望ましい。
- f. ユニフォームの色、選手番号については、参加申込締め切り後の変更は認めない。
- g. ユニフォームへの広告表示については、本協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。

h. ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。

(5) キャプテンアームバンド

競技規則で定められたアームバンドを、各チームで用意して着用する。

(6) 試合時間

① 80 分とする。

ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則 10 分間

② 試合の勝敗の決定する方法（試合時間内に勝敗が決しない場合）

20 分（前・後半 10 分）の延長戦を行い、なお決しない場合は P K 方式により勝者を決定する。

延長戦に入る前のインターバル：5 分間

PK 方式に入る前のインターバル：1 分間

③ アディショナルタイムの表示：行う

(7) マッチコーディネーションミーティング

各試合開始時間の 7 0 分前に実施。

(8) 熱中症対策

① WBGT=31℃以上の場合は、試合を中止または延期する。

やむを得ず行う場合は『JFA 熱中症対策※1』を講じた上で、Cooling Break を行う。

② WBGT=28℃以上の場合は、Cooling Break を行う。

③ WBGT=25℃以上の場合は、飲水タイムを行う。

(9) その他

① 第 4 の審判員の任命：行う

② 負傷者の対応：主審が認めた場合のみ、最大 2 名ピッチへの入場を許可される。

③ メンバー提出用紙提出後からキックオフまでの間における選手変更は、ウォーミングアップ・練習中の負傷または急病等、やむを得ない事情があり、かつ主審の承諾を得た場合に限られる。先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更し、新たな選手を控え選手として補充することができる。当該先発予定選手を控え選手に変更することはできないが、ゴールキーパーについては例外として認める。また、控え選手の場合、新たな選手を補充することができる。ただし、補充する選手は出場チームが参加申込をした 30 名の中からとする。

12. 懲罰

- (1) 本大会の都道府県予選は懲罰規定上の同一競技会とみなし、都道府県予選終了時点で未消化の出場停止処分は本大会で順次消化する。ただし、警告の累積による場合は除く。
- (2) 大会規律委員会の委員長は 一般社団法人東海サッカー協会規律委員長とし、委員については、東海女子委員長、各県女子委員長とする。
- (3) 本大会期間中に警告を 2 回受けた選手および役員は、次の 1 試合に出場できない。
- (4) 本大会において退場を命じられた選手および役員は、自動的に次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
- (5) 本実施要項に記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

13. 試合球 モルテン社製ボールヴァンタッジオ F5N4900（芝用）

14. 大会参加料（振込み）

各チーム 50,000 円を、8 月 21 日までに下記口座にお振込みください。

【振込先】

三島信用金庫 片浜支店 普通 0185402

静岡県サッカー協会東部支部女子委員会 会計 江副 智穂

※ チーム名で振り込み

※ 振込手数料はチーム負担

お手数をおかけしますが、ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

15. 傷害補償 チームの責任において傷害保険に加入すること。

16. 選手証 2026 年度選手証（顔写真添付）を持参すること。電子登録証も可。

試合前に本部にて、提出・確認を行います。

17. その他

(1) 大会要項に規定されていない事項については女子委員会において協議の上決定する。

(2) 櫓①、② における 1 位の 2 チームが東海代表として、本大会に出場する。

(3) 試合の延期・途中中止の決定について

a. 延期は、東海女子委員会で協議の上、決定する。

b. 途中中止は、大会事務局及び主審で協議の上、決定する。

c. 途中中止なった場合は下記のとおりとする。

試合の状況	中止になった時間帯	
	前半の内	後半の内
同 点	再開試合	再開試合
1 点差以上	再開試合	試合成立

d. 再開試合でのメンバー変更を認める。

e. 警告・退場の処分は規定どおりとし、当該試合においては選手の補充はできない。

f. 再開試合において更に途中中止が発生した場合は、東海女子委員会で協議の上決定する。

【大会申し込み先】

担当者 : 一般財団法人静岡県サッカー協会 女子委員会 皇后杯担当 野本 恭平

携帯番号 : 090-1565-0221

メールアドレス : k-nomoto@numazu-szo.ed.jp

申し込み兼メンバー表のみを送付してください。

※申し込み締切日 8 月 21 日（金）